



# これからカサゴの最盛期 大小交じりでアタリ活発

サクラの盛りが過ぎると、三浦半島久比里出船のカサゴ乗合の季節が始まる。ゴツゴツと派手なアタリが竿先を絞り込むカサゴ釣りは私の好きな釣りの一つだ。4月23日の日曜日、久比里の山下丸には



▲久比里出船のカサゴは本誌発売のころから最盛期に突入する

カサゴファン10人が集まった。カサゴは私にとって思い入れの強い魚で、子どものはとくにこの魚が好きだった。怪獣のような風体にかっこよさを感じていたのかもしれない。釣り入門書に書かれてい

## 根掛かり軽減のコツ

7時半の出船時間となり、船はゆっくりと平作川を下って海へと出る。山下丸のカサゴポイントには多数あるが、大別すると久里浜沖を中心に鴨居、下浦沖にかけての神奈川県側、航路を渡り竹岡、大貫方面までの千葉県側の2系統になる。

この日、山下克範船長が船を向けたのは千葉県側のポイントだった。まだ水温が低めでカサゴが浅場が上がってきていないので、竹岡沖の深場(25〜30メートル)を狙うとのことだ。海上は北風が予報よりも吹いていて肌寒い。30分ほどかけて竹岡沖に着くと投入合図が出た。

## 切り身エサの付け方のコツ

サバの切り身は、端っから1〜2ミリほど離して真ん中に刺す。これは、エサが回転するのをなるべく抑えるためだ。サバの切り身は意外に丈夫で、端のスレスレを刺してもエサ持ちは悪くない。ハリを刺す方向は、皮側から刺して身側に抜く。こうするとエサの中心線に正確に刺しやす。エサが回転すると枝スが絡んで食いが落ちるので、エサ付けはいいこと心がけよう。

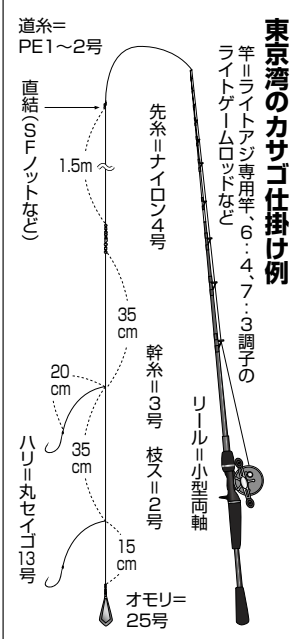


◀エサ付けが大きく釣果を左右する釣りでもある

モリを揺さぶるようにしてやると外れることも多い。根掛かりしたときは、すぐに強く引っ張らずに、糸を張ったり緩めたりしてみよう。オモリや仕掛けのロストを軽減できるはずだ。

## Tackle Guide

カサゴ釣りは専用竿が市販されていない。数少ない釣りの一つだ。これまでキス竿、力ワハギ竿、マゴチ竿など色いろ使ってきたが、一番しっくりきたのがライトアジ専用竿だった。穂先の軟らかさ、操作性のよさ、軽さが気に入っている。ほかには6:4調子か7:3調子のライトゲームロッドもカサゴ釣りにぴったりフィットする。



## 東京湾のカサゴ仕掛け例

船宿で用意されるサバの切り身はきれいにカットされている。切り身の端をチョン掛けにしてハリに付けるが、仕掛けの枝スが幹糸に絡まって上がってくる場合には、エサを付け替えてやるとよい。真つすぐに付けたつもりでも、微妙にエサが傾いていて、水中でクルクルと回転することがあるからだ。エサが回転すると仕掛けが絡まり、その結果エサの動きも悪くなるので、カサゴの食いは落ちてしまう。まめな仕掛けの絡みチェック、エサのチェックが釣果をのばすコツになる。

## 後半戦は良型ぞろい

船宿で用意されるサバの切り身はきれいにカットされている。切り身の端をチョン掛けにしてハリに付けるが、仕掛けの枝スが幹糸に絡まって上がってくる場合には、エサを付け替えてやるとよい。真つすぐに付けたつもりでも、微妙にエサが傾いていて、水中でクルクルと回転することがあるからだ。エサが回転すると仕掛けが絡まり、その結果エサの動きも悪くなるので、カサゴの食いは落ちてしまう。まめな仕掛けの絡みチェック、エサのチェックが釣果をのばすコツになる。

昼近くになり潮が緩んでくるとアタリが増えてきた。私のバケツにも20センチ前後のカサゴがたまっている。周りでは時折25センチオーバーのカサゴが顔を見せて歓声が上がるといわれる。この日最大級の27センチにもなるといつかい顔に大きな口で立派な貴様を備えている。

あの良型が釣りたい、と願っているコッソリというアタリ、竿を立てると竿先が激しく引き込まれた。巻いている途中もガンガン！と竿をたたく。上がってきたのは25センチのカサゴだった。このサイズを軽量のライトアジ専用竿で釣ると実に面白い。

朝方は北風が強く海も悪かったが、午後になるとすっきりしないカサゴ日和となった。沖揚がりの時間を迎え、船中釣果は7〜26尾、外道にホ



▲カサゴの着き場に仕掛けが入るとダブルで食ってくることも

## お好みでソフトルアーも面白い

エサは船宿で用意されるサバの切り身で十分だが、遊び心を持ってソフトルアーを付けてみるのも面白い。潮の濁っているときなど、夜光などのアピールカラーが効果を発揮することもあるという。切り身エサと併用しながらでも、当たりカラーを発見すればカサゴ釣りがより面白くなるかも。



◀ワームは2インチ前後のテールグラブなど、カラーは夜光は外せない

ウボウやワニゴチが交じった。久里浜沖のカサゴは5月後半から6月にかけてが最盛期となる。水深10〜15メートルの浅場で釣れ始めると、ポイントには久里浜沖を中心に鴨居沖、下浦沖と広がり、数型とも期待できる時期を迎える。カサゴは煮つけ、空揚げが

定番料理だが、良型のカサゴが釣れたときには寿司ネタにするのをおすすめしたい。弾力のある白身はほのかなうま味があり、酢飯との相性は抜群だ。

## 船宿information

三浦半島久比里  
**山下丸**  
☎046-842-8856  
(詳細は巻末の情報欄参照)



山下 克範船長

▶料金=カサゴ乗合一人 9200円(エサ付き)、水 200円  
▶備考=7時半出船。ほかカワハギ、アジへも出船